

京都市立芸術大学
美術学部長 森野 彰人
美術研究科長 礪波 惠昭
(公印省略)

教員の公募について

このたび、京都市立芸術大学美術学部・大学院美術研究科では、下記の要領において専任教員を公募いたします。

記

1 担当内容

教育学（教職を含む教育実践領域）にかかわる科目

- 学部：『教育方法論（ICT含む）』、『教育課程論』、『人権教育論』、『道徳教育指導論』、『特別活動及び総合的な学習の時間の指導法』、『教育原理』等
以下の科目は美術・音楽の教職担当教員と分担する
『事前事後指導（美術・音楽 分担）』、『教育実習Ⅰ・Ⅱ（美術・音楽 分担）』、『教職実践演習（分担）』、『介護等体験（分担）』等
加えて、『総合基礎実技』、『テーマ演習』および、本学の教育内容を拡充する新たな科目（1科目）を構想・開講していただきます。
- 大学院修士課程：本学の教育内容を拡充する新たな科目（1科目）を構想・開講していただきます。
- 大学院博士（後期）課程：『研究領域研究指導』、『領域研究演習』、『総合制作・理論演習』、『造形計画論研究』など

2 職名・人員

講師又は准教授 1名

3 応募条件

- 修士以上の学位を有し、教育学（教職を含む教育実践領域）を専門として、教育方法・教育思想・教育制度に関する基礎的理解を有するとともに、美術・音楽双方の学生に対して、専門領域と教育との関係を踏まえた教職指導を行うことができる人
- 学校教育における実務経験を原則として3年以上有し、障がい、病気、文化的背景、学習特性等の多様性を理解した上で、個別性と集団性の両面を踏まえた教育実践を構想し実施できる人
- 大学における教職課程関連の実務経験を原則として3年以上有し、教育実習Ⅰ・Ⅱ、事前事後指導、教職実践演習等に一体的に関わった経験を通じて、教職課程の安定的運営に貢献できる人
- 美術及び音楽分野における教職課程を対象として、両学部の特性を理解し、学部間の連携を図りながら教育・指導を行うことができる人
- 地域・学校・自治体等と連携し、教育実習や教育活動に関わる企画・調整・実践に継続的に関与できる人
- 学部・専攻を横断した全学的な教育に関心をもち、教育研究活動に参画する意欲を有する人
- 研究、教育のみならず、学内運営業務を積極的に行える人
- 日本語で教育指導・運営業務が可能な人
- ダイバーシティの推進に積極的に関われる人
- 採用後、通勤可能な範囲に居住する人

4 提出書類等

(1) 提出物一覧表

(2) 履歴書及び業績書

文部科学省教職課程認定申請様式に定める「07-1 様式第4号（履歴書）」及び「07-2-2 様式第4号（教育研究業績書_小・中・高・特支）」を提出（様式は以下からダウンロードしてください）

様式第4号（履歴書）

<https://www.kcuu.ac.jp/wp-content/uploads/5408a1b71e07e26995acce3f2ec556e.docx>

様式第4号（教育研究業績書_小・中・高・特支）

<https://www.kcuu.ac.jp/wp-content/uploads/eac307b0b57d7e76acb9d3be599fbb8d.docx>

記入例

<https://www.kcuu.ac.jp/wp-content/uploads/fdf9407f244723c13844bf7e8bb8c3fc.pdf>

なお、履歴書の賞罰欄には、刑事罰のみでなく、学生に対するセクシュアルハラスメント・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、その原因となった具体的な事由を記入してください。未記入や虚偽記載が判明した場合には、経歴詐称として採用取消や懲戒解雇等の対象となることがあります。

(3) 履歴に関する確認書（本学書式をダウンロードしてください）

<https://www.kcuu.ac.jp/wp-content/uploads/0f54e12e34d9f8fa9ca5960018da0e6b.pdf>

- (4) 最終学校の卒業又は修了証明書（写し可）
- (5) 過去5年以上にわたる著書、論文および報告書等またはその写し
- (6) 本学における教育学（教職を含む教育実践領域）での教育及び研究についての抱負を述べた文章（日本語でA4用紙1枚程度）
- (7) 日本国内からの応募の場合、ゆうパックや宅配便等の着払い用の送付状（届け先の欄に資料の返送を希望する住所・氏名・電話番号を記入のこと）

※ 提出書類等は、日本国内からの応募の場合は選考終了後に返却しますが、日本国外からの応募の場合は返却しません。
※ 提出書類等の返送は、(7)で提出いただいたゆうパックや宅配便等の着払い用送付状を利用します。

5 選考方法

- (1) 一次選考（書類選考）
令和8年6月上旬頃に選考結果を通知します。
二次選考に進む方以外は、選考結果の通知とあわせて提出書類等を返送します。
 - (2) 二次選考（面接）
令和8年6月中旬から7月上旬の間に面接を実施します。（面接の旅費等は自己負担となります）
- ※ 日本国外に居住する応募者はオンライン面接も可能です。その他、状況に応じてオンライン面接を行う場合があります。

6 提出期限

令和8年5月15日(金)必着(書留又は宅配便など、配達確認が可能な方法。持参は不可)

7 採用予定日

令和9年4月1日(内定は、令和8年8月下旬を予定しています)

8 給与

講師：年収 約590万円～約690万円
准教授：年収 約680万円～約720万円

- ※ 上記は、年2回の賞与を含んでいます。
※ 学歴・職歴に応じて金額が決定されます。
※ このほか、扶養手当、通勤手当などがそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

9 書類提出先

〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1
京都市立芸術大学 美術学部長宛（封筒等の表に「共通教育教員応募」と朱書のこと）

- ※ 社会状況により国際郵便等の送付が困難な場合は以下に相談すること。

10 問合せ先

京都市立芸術大学事務局教務学生課(美術教務担当)
電話:075-585-2002
E-mail:fineart*kcuu.ac.jp（*を@に変えてください）

11 その他

- (1) 提出書類等は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
- (2) 採否の結果については、文書又はメールで応募者に通知します。
- (3) 本学の情報は、ホームページ (<https://www.kcuu.ac.jp/>) を御覧ください。